



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月10日

上場会社名 アンドール株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4640 URL http://www.andor.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)栗原高明
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部長 (氏名)埜 勝宏 (TEL)03(3419)3011
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	680	2.5	54	△28.8	58	△26.8	39	△37.1
30年3月期第1四半期	663	△1.4	76	196.4	80	163.1	62	902.9

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 35百万円(△60.8%) 30年3月期第1四半期 89百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	7.59	—
30年3月期第1四半期	12.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	2,513	1,866	74.3
30年3月期	2,516	1,847	73.4

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 1,866百万円 30年3月期 1,847百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,350	5.2	140	1.1	145	1.4	107	0.6	20.67
通期	2,650	3.7	275	3.0	280	2.7	200	2.8	38.63

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期1Q	5,184,140株	30年3月期	5,184,140株
31年3月期1Q	6,289株	30年3月期	6,289株
31年3月期1Q	5,177,851株	30年3月期1Q	5,177,881株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用情勢が改善する中、設備投資が持ち直しの動きを見せる等回復基調にあるものの、米国の保護主義貿易及び中国経済動向等の先行き懸念材料により不透明感を増す状況で推移しております。

このような状況のもと、当社グループは、独自のソリューションで主に日本の代表的な基幹産業の自動車・重工業・精密機器や電気機器等の設計の礎となるCAD設計から、アプリケーションソフト開発、カスタマイジング、保守運用に至るまで総合エンジニアリングサービスで多様化するお客様のニーズにお応えする事業を推進しております。

当第1四半期連結累計期間につきましては、売上高は680,364千円（前年同期比2.5%増）となりましたが、営業利益が54,529千円（前年同期比28.8%減）、経常利益は58,983千円（前年同期比26.8%減）となりました。

法人税、住民税及び事業税8,273千円、法人税等調整額9,406千円等を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は39,320千円（前年同期比37.1%減）となりました。

セグメントごとの業績は下記のようにしております。

I プロダクツ事業

自社の開発商品であるソフトウェア、附帯するハードウェア機器を販売し、導入・保守・運用・受託開発を行っております。

パッケージソフト開発・販売としては、2次元CADソフト「CADSUPER」ならびに「CADSUPER Lite」、3次元CADシステム「CADSUPER Works」、2.5次元CAMソフト「CAMCORE EX」等のCAD/CAM関連製品を主力製品として取り扱っております。

システム商品販売としては、自社開発製品をベースに他社との協業でのトータルソリューション製品を販売し、お客様のニーズに適合するシステムを提供することによりお客様指向、問題解決指向型の提案営業を行っております。

導入運用サービスとしては、自社製品販売に伴う導入・保守・運用・サポート収入が主体であります。

受託開発としては、自社CADソフトのカスタマイジングを始め、当社の3D技術を活かしたソフトウェア開発を行っております。

自社製品売上高の減少により、この事業の売上高は185,380千円（前年同期比1.1%減）となり、経常利益は46,529千円（前年同期比3.7%減）となりました。

II エンジニアリング事業

業務系・制御系・LSI設計・回路設計・機械設計等の豊富な経験を持つ技術者が、ソフトウェア開発からアウトソーシング・技術者派遣まで、多方面にわたる設計サービス分野において、総合エンジニアリングサービスを行っております。

技術者工数の確保により売上高は堅調な推移となったものの、人件費の増加に伴い、この事業の売上高は489,075千円（前年同期比3.9%増）となり、経常利益は9,378千円（前年同期比68.1%減）となりました。

III 不動産事業

不動産の賃貸料を売上高に計上しております。

不動産稼働率の向上により、この事業の売上高は5,907千円（前年同期比5.1%増）となり、経常利益は3,075千円（前年同期比6.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の増加（370,600千円から378,541千円へ）7,941千円、預け金の増加（146,190千円から168,042千円へ）21,851千円、ソフトウェア仮勘定の増加（3,113千円から20,707千円へ）17,594千円等があったものの、現金及び預金の減少（1,128,758千円から1,079,432千円へ）49,325千円等により、前連結会計年度末に比べ2,836千円減少の2,513,453千円となりました。

負債は、その他（流動負債）の増加（134,160千円から234,847千円へ）100,687千円等があったものの、未払法人税等の減少（85,006千円から5,421千円へ）79,584千円、前受金の減少（102,257千円から85,341千円へ）16,916千円等により、前連結会計年度末に比べ22,476千円減少の646,545千円となりました。

純資産は、配当金の総額15,533千円等があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上39,320千円により、前連結会計年度末に比べ19,639千円増加の1,866,907千円となり、自己資本比率は74.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月18日公表の「平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。業績予想の修正はありません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来の予想に対する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,128,758	1,079,432
受取手形及び売掛金	370,600	378,541
商品及び製品	330	420
仕掛品	3,203	12,140
貯蔵品	5,806	5,806
預け金	146,190	168,042
その他	40,441	48,866
流動資産合計	1,695,331	1,693,250
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	116,123	115,479
土地	189,346	189,346
その他（純額）	3,506	5,165
有形固定資産合計	308,976	309,992
無形固定資産		
ソフトウェア	112,149	100,065
ソフトウェア仮勘定	3,113	20,707
その他	3,219	3,219
無形固定資産合計	118,483	123,993
投資その他の資産		
投資有価証券	280,584	280,754
破産更生債権等	698	698
長期貸付金	50	35
繰延税金資産	94,039	86,645
その他	26,050	26,006
貸倒引当金	△7,923	△7,923
投資その他の資産合計	393,499	386,216
固定資産合計	820,958	820,202
資産合計	2,516,289	2,513,453

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	51,862	50,182
未払法人税等	85,006	5,421
前受金	102,257	85,341
賞与引当金	66,537	39,989
その他	134,160	234,847
流動負債合計	439,824	415,782
固定負債		
役員退職慰労引当金	7,030	7,366
退職給付に係る負債	220,114	221,240
その他	2,051	2,155
固定負債合計	229,197	230,762
負債合計	669,021	646,545
純資産の部		
株主資本		
資本金	501,889	501,889
利益剰余金	1,295,421	1,319,208
自己株式	△1,910	△1,910
株主資本合計	1,795,401	1,819,188
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,867	47,719
その他の包括利益累計額合計	51,867	47,719
純資産合計	1,847,268	1,866,907
負債純資産合計	2,516,289	2,513,453

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	663,613	680,364
売上原価	470,606	498,236
売上総利益	193,006	182,127
販売費及び一般管理費	116,457	127,597
営業利益	76,549	54,529
営業外収益		
受取利息	131	134
受取配当金	3,518	3,964
固定資産賃貸料	351	351
雑収入	67	49
営業外収益合計	4,068	4,499
営業外費用		
支払利息	38	40
雑損失	2	5
営業外費用合計	40	45
経常利益	80,577	58,983
特別利益		
投資有価証券売却益	12,960	2,526
特別利益合計	12,960	2,526
特別損失		
投資有価証券売却損	-	4,509
特別損失合計	-	4,509
税金等調整前四半期純利益	93,538	57,000
法人税、住民税及び事業税	15,379	8,273
法人税等調整額	15,601	9,406
法人税等合計	30,980	17,679
四半期純利益	62,557	39,320
親会社株主に帰属する四半期純利益	62,557	39,320

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	62,557	39,320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,168	△4,147
その他の包括利益合計	27,168	△4,147
四半期包括利益	89,726	35,173
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	89,726	35,173

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	プロダクツ事業	エンジニアリング事業	不動産事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	187,460	470,531	5,621	663,613	663,613
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	187,460	470,531	5,621	663,613	663,613
セグメント利益	48,331	29,369	2,876	80,577	80,577

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	プロダクツ事業	エンジニアリング事業	不動産事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	185,380	489,075	5,907	680,364	680,364
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	185,380	489,075	5,907	680,364	680,364
セグメント利益	46,529	9,378	3,075	58,983	58,983

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

- ①当第1四半期連結累計期間より、当社グループの主要な経営管理指標を営業利益から経常利益に変更したことに伴い、セグメント利益を営業利益から経常利益に変更しております。
- ②従前よりエンジニアリング事業に計上しておりました受託売上に係る損益につきましては、当社の組織改編に伴い、プロダクツ事業に組み替えて表示しております。

なお、上記①②の変更に伴い、当第1四半期連結累計期間と同一の基準をもって、前第1四半期連結累計期間のセグメント表示を変更しております。